

読んでなっとく! **横浜の歴史** vol.40
 文: 横浜開港資料館 調査研究員 齊藤 司

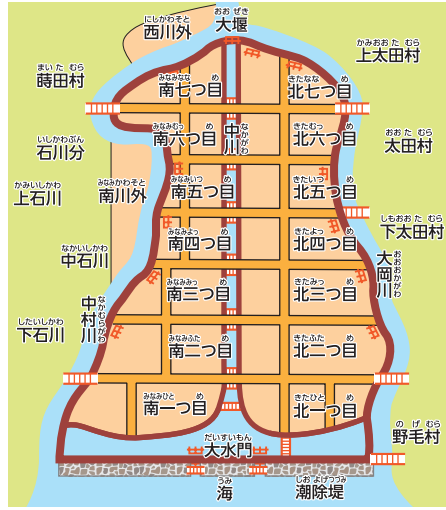
吉田新田⑦
—農民の移住と耕作の開始—

第2回目の工事は順調に進捗し、工事が開始された万治2年(1659)2月から丸3年が経過した寛文2年(1662)2月には、新田耕地の小作契約書である「預り申新田地小作手形之事」という証文が「新田御中間衆中」宛に提出されている。

この段階で確認できる小作契約者は5名である。この内、宮崎市兵衛(北四つ目・南四つ目・南五つ目で合計20町6反6畝)と野毛村の久左衛門(北二つ目・南二つ目・南三つ目・南四つ目で合計45町)の耕作面積を合計すると65町余となり、新田の半分以上の面積が兩人による耕作ということになる。

残りの3名は吉野与左衛門(西川外で1町2反1畝)・堀之内村の三郎右衛門(七つ目・南六つ目・西川外で1町2反7畝28歩)・彦兵衛(場所不明で3反)であり、いずれも耕作地の他に屋敷地借用の証文を作成している。たとえば吉野与左衛門は「南七つ目土手之根きわ」2反を屋敷として借用している。「土手之根きわ」とは、「土手」=堤防の「根きわ」(根際)に立地する微高地であり、多少の増水では浸水しない場所である。吉野与左衛門は南七つ目堤防沿いの屋敷地に居住して、中村川対岸の西川外の小作地を耕作していたことになる。ちなみに三郎右衛門と彦兵衛の屋敷地も「南七つ目土手根きわ」となっている。

なお、吉野与左衛門や三郎右衛門の耕



図版: 吉田新田概念図

作面積は1町余であり、これが1軒あたりの耕作可能面積と考えられる。

おそらく新田の上部に所在する七つ目・六つ目については水田化が先行的に進んでおり、実際に耕作が可能であったと思われる。これに対して、それより下部にあたる五つ目・四つ目・三つ目・二つ目については、耕地のありようがなお不安定であり、その安定化について多数の労働力を動員可能な宮崎市兵衛と野毛村久左衛門が請け負ったということになる。宮崎市兵衛は寛文3年に友野与右衛門とともに箱根用水の開削に関する願文を箱根神社へ提出しており、また野毛村久左衛門も新田開発の現場である野毛村に居住しているため、新田開発計画の当初より「新田御中間衆中」に近い人々であったと思われる。

濱人 HAMABITO Vol.6
 俳優 **大和田健介**さん 横浜市在住
 ~いつか横浜を舞台に映画を撮りたい~



映画、ドラマ、CMで活躍中の大和田健介さん。父が大和田伸也さん、母が五大路子さんという俳優一家で育った。

小さな頃からずっと、両親の背中を見て育ち、自然と映像を撮ることに興味を湧いた。高校卒業の時、自主制作した映画を横浜市開港記念会館で上映したことも。大学では映画演技コースに在籍し、基礎を学んだ。

2007年から俳優活動を始め、2013年公開の映画『天心』では若き日の岡倉天心を演じた。福井藩出身の下級武士が横浜に来て貿易商となり、そこに生まれた岡倉天心の生涯を描いた物語。父が福井県出身、母が

横浜育ちという自身の境遇と重なり、運命的なものを感じたという。映画監督の目に留まり、2015年公開の映画『桜花最後の特攻〜』に主演。その映画の上映をシネマ・ジャック&ベティに直談判、見事上映にこぎつけた。

「横浜の海や街並みに、歴史と現代のパワーを感じます。いるだけで物語の主人公になれるような魅力がある街。いつか横浜を舞台にした作品を作りたい。」

そんな大和田さん、横浜市開港記念会館100周年記念で開催される、映画『天心』上映会のトークショーに登場する。「天心の生家の跡地である開港記念会館で上映されるという貴重な機会。ぜひ観に来てください。」

開港記念会館100周年 映画『天心』横浜上映会
 10月22日(日) 横浜市開港記念会館講堂
 問合せ ☎070(5021)9979映画『天心』製作委員会
 詳細は7面参照

ソーシャル・コミュニティ・スペース **ソコス SOCOS**
 申込み方法 TEL 0466(50)5088 FAX 0466(50)5077
 メール socos.yokohama@gmail.com
 SOCOSは「NPO法人 湘南の学校」が運営する地域コミュニティ活性化事業です

小田原まち歩きツアーvol.38
江戸時代から栄えた歴史ある小田原のモノづくり
洗練された伝統のデザインと、現代のカワイイもの探しませんか
 小田原では、江戸時代から続く生業の伝統が息づいています。今、それらの現場では革新的なデザインや現代の“カワイイ”も、新たな商品に生まれ変わり人気となっています。今回は街かど博物館の老舗を訪ね、洗練されたモノたちを探しに行くまち歩き。ランチは、「ういろう」の新店舗「杏林亭」で中華弁当をいただきます。

日程 10月23日(月)10時(解散:清閑亭 15時頃)
 集合場所 JR小田原駅改札出たところ 小田原提灯の下 定員 25名
 参加費 5,200円(ガイド代、ランチ代込) ※前・当日のキャンセルは、全額キャンセル料を承ります
 案内 NPO法人小田原まちづくり応援団

杏林亭のお弁当

絶景紅葉 ウォーク 第2弾
横浜駅発着バスツアー
妙義山パノラマ めがね橋

日本三大奇勝の一つ妙義山。奇岩と紅葉の織り成すパノラマを楽しみながらのウォーキング。レンガ造りのめがね橋も必見。一般向、8,000歩。

● 出発 11月14日(火) JR横浜駅 7時集合
 ● 旅行代金 1人 8,800円(昼食付)
 ● 定員 40名(先着順)

あしまめ 旅行舎
 ※紅葉時期により、内容が変わる場合があります
 ■旅行企画・実施 (株)日本旅行 藤沢支店 観光庁長官登録旅行業第2号
 ■問合せ・資料請求 ☎0466(22)7411 あしまめ旅行舎

豆柴まつり 開催中! 10月31日(火)まで
ティーカッププードル大集合も同時開催

豆スケ☆豆プーは、マイクロサイズやティーカップサイズのトイプードル、豆柴など小さくてかわいい子犬を専門に扱うブリーダー直販のペットショップ。期間中は、平常価格より大幅プライスダウン&かわいいお顔が勢ぞろい!

豆スケ☆豆プー
 横浜市旭区西川島町142-2 ☎045-459-6202
 Web:http://mamesukemamepu.com/ Email:mail@mamesukemamepu.com

横浜 ベイシェラトン ホテル&タワーズ
杏里 クリスマスディナーライブ 2017

1978年「オリビアを聴きながら」でデビュー以来、「CAT'S EYE」「悲しみがとまらない」など数々の大ヒット曲を生み出した杏里。ライブと共に料理長の洗練されたフレンチコースをお楽しみください。

2017.12.23(土・祝)
 (第1部)お食事15:00~/ライブ16:30~
 (第2部)お食事19:00~/ライブ20:30~
 ※受付は30分前~
 会場:5F大宴会場「日輪」
 料金:お一人様 ¥32,000(税・サ込)

「ヨコハマよみうりを見た」でお一人様 ¥31,000
 ※10月10日(火)までにお電話でお申し込みの方先着10名様

※料金にはライブ(全席指定)・クリスマス特別フレンチコース・フリードリンク・税・サービス料が含まれます
 ※チケット発券手数料として1枚につき300円(税込)を別途頂戴いたします
 ※小学生以下のお子様のご入場はご遠慮いただいております

クリスマス特別フレンチコース

【ご予約・お問合せ】
 宴会予約直通: ☎045-411-1126
 (受付時間:10:00~19:00)

横浜 ベイシェラトン ホテル&タワーズ
 〒220-8501 横浜市西区北幸1-3-23 / TEL.045-411-1111(代表)